

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成29年2月23日 (2017.2.23)

【公表番号】特表2016-512970(P2016-512970A)

【公表日】平成28年5月12日 (2016.5.12)

【年通号数】公開・登録公報2016-028

【出願番号】特願2015-556055(P2015-556055)

【国際特許分類】

A 6 2 B 18/08 (2006.01)

H 0 4 R 3/04 (2006.01)

H 0 4 R 27/04 (2006.01)

【F I】

A 6 2 B 18/08 A

H 0 4 R 3/04

H 0 4 R 27/04 A

H 0 4 R 27/04 C

【手続補正書】

【提出日】平成29年1月17日 (2017.1.17)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

呼吸マスクであって、前記呼吸マスクは、

前記マスクと着用者の口及び鼻との間に清浄空気封入部を画定するように構成され、第 1 の周波数範囲にわたる音響減衰分布を呈するマスク本体と、

音声増強装置と、

を備え、前記音声増強装置は、

前記マスク本体への取り付けのために構成されるマイクロホンであって、前記マイクロホンは、前記マスク本体に取り付けられると前記清浄空気封入部内の音響エネルギーを検出するように更に構成される、マイクロホンと、

前記清浄空気封入部の外部で音響エネルギーを生成するように構成されるスピーカと、

前記スピーカ及び前記マイクロホンに動作可能に接続されるコントローラと、

を含み、前記コントローラは、

前記マイクロホンから音声信号を受信する工程であって、前記音声信号は、前記第 1 の周波数範囲内の前記マイクロホンによって検出された音響エネルギーを指示する、受信する工程と、

前記スピーカへ出力信号を送出する工程であって、前記出力信号は、前記スピーカに、補償音響エネルギーを放出させるように構成され、前記補償音響エネルギーは 1 つ以上の所定の減衰周波数範囲内で放出され、前記補償音響エネルギーは、前記補償音響エネルギーが、前記 1 つ以上の所定の減衰周波数範囲のそれぞれの所定の減衰周波数範囲の少なくとも 90 % にわたって前記マスク本体の前記音響減衰分布よりも 6 d B 未満大きい振幅を呈するような、所定の減衰振幅分布を含む、送出手工程と、

を実行するように構成される、呼吸マスク。

【請求項 2】

呼吸マスクの前記着用者のための音声を増強する方法であって、前記方法は、

マイクロホンを用いて呼吸マスクの清浄空気封入部内の音響エネルギーを検出する工程と、

前記マイクロホンからコントローラへ音声信号を送出する工程であって、前記音声信号は、前記第 1 の周波数範囲内の前記検出された音響エネルギーを指示する、送出手工程と、

スピーカへ出力信号を送出する工程であって、前記出力信号は前記スピーカに、前記清浄空気封入部の外部へ 1 つ以上の所定の減衰周波数範囲内で補償音響エネルギーを放出させ、前記補償音響エネルギーは、前記補償音響エネルギーが、前記 1 つ以上の所定の減衰周波数範囲のそれぞれの所定の減衰周波数範囲の少なくとも 90 % にわたって前記マスク本体の音響減衰分布よりも 6 dB 未満大きい振幅を呈するような、所定の減衰振幅分布を含む、送出手工程と、

を含む、方法。